

欧州かわら版

フランクフルト、パリを猛追するアムステルダム

目指せ！ロンドンに代わる金融センター

英国の欧州連合（EU）離脱に伴い、EU加盟国間ではロンドンに代わる「欧州の金融センター」の座をめぐる、金融機関の誘致合戦がヒートアップしています。

ドイツのフランクフルトや欧州かわら版2月号で特集したフランス・パリが本命と言われている中、オランダのアムステルダムも、これまでに100社以上と連絡を取るなど、英国のEU離脱後の金融センターとして金融機関の誘致へ猛アピールを続けています。

ニューヨークタイムズの記事によると、英国シティレベルで条件が見合う都市として第1位はアムステルダムで次点がフランクフルト、その後パリの順と続いています。

アムステルダムにEU事業の拠点を置くメリット

- 1. 英語能力の高さ
- 2. 優れた交通機関
- 3. デジタルの中心



1. 英語能力の高さ

オランダの母国語はもちろんオランダ語ですが、子供からお年寄りまで、当たり前のように英語が話せます。オランダ人の90%以上の人は英語が話せるといわれており、英語を第2言語とする国々の英語力のレベルをランキングするEF 英語能力ランキングでは堂々の第1位です（日本は37位）。

2017 EF 英語能力ランキング

国	オランダ	ドイツ	フランス
スコア	71.45	62.35	54.39
ランキング	1位	9位	32位

（出所）EFエデュケーション・ファースト

オランダの人は、相手にオランダ語で話し掛け、相手が理解していないとわかると瞬時に英語で言い直してくれます。いろんな国の人と日常的に接する環境で、オランダ語と英語を自由に使えるオランダ人は、若い頃から自然と国際人としての素質が養われており、相手の国籍や言語を問わず、誰でも臨機応変にフラットに接することができます。この点は、英国からユーロ圏へ業務を移転することを検討している金融機関への最大のアピール・ポイントとなっています。

2. 優れた交通機関

オランダには、年間6,300万人が利用するスキポール空港があります。国土が小さいオランダは、そのほとんどが国際線の利用で、国際線の旅客数では世界第4位の空港となります。しかも、スキポール空港はアムステルダム中央駅から鉄道でたったの15分という好立地にあります。また、オランダは欧州の主要都市を結ぶ優れた鉄道網を有しており、EUの本部があるベルギーのブリュッセルにも、鉄道で行くことができます。

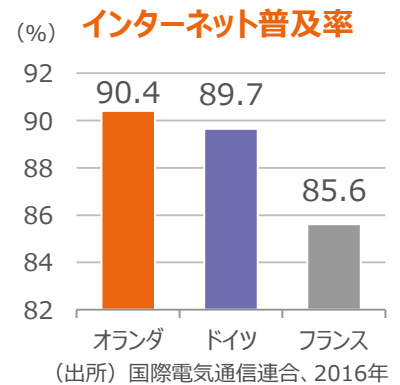
各空港の旅客数とランキング

都市	アムステルダム	フランクフルト	パリ
空港名	スキポール	フランクフルト	シャルル・ド・ゴール
2016年国際線旅客数*	6,353万人 4位	5,370万人 8位	6,038万人 5位

（出所）*国際空港評議会(ACI)、2016年の旅客数

3. デジタルの中心

また、オランダは、インターネット普及率とその利用度合いが高く、中でも光ケーブルや衛星による通信網が整備されたアムステルダムは、デジタルの世界でも、ロンドンやフランクフルトと並んで優位性があるとされています。



アムステルダムの欠点は？

アムステルダムの欠点は限られたスペースです。運河沿いに並ぶ古い街並みは、間口が非常に小さく、また、新たに建築するスペースもそれほどありません。そのため、アムステルダムはアムステルダム首都圏地域というワードを使ってマーケティング活動を行なっているようです。

こうした条件面だけで見ると、アムステルダムにも欧州の金融センターとなるチャンスが十分あるように見えます。ハード・ブレグジットで英国のEUパスポートが無効になった場合、こうした条件面の良さに着目した金融機関の雇用移転が起き、スーツ姿で自転車に乗るビジネスマンがアムステルダムに溢れかえる日が来るかもしれません。

上記の予測・見解等は作成時点のものであり、予告なしに変更されます。巻末の本資料の注意事項を必ずご確認ください。

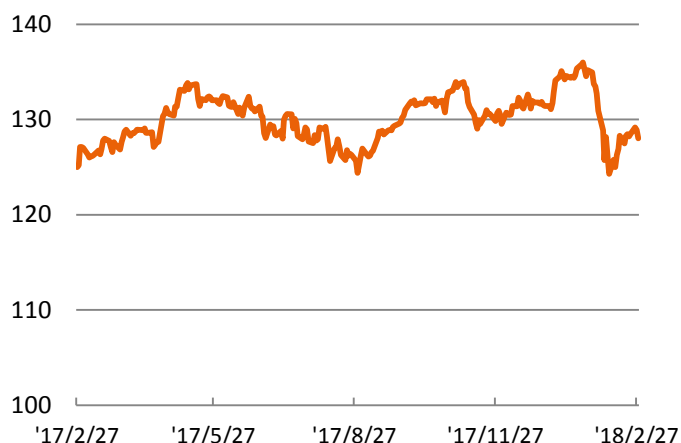
●先月の欧州市場

2月の欧州株式市場は他の主要市場同様に下落しました。月初から欧州の金利上昇が嫌気されて軟調に始まり、米国株式市場が大きく下落すると、投資家のリスク回避姿勢が強まって欧州株式市場も下げ足を速めました。米国市場が落ち着くと欧州株も底値を固める動きとなりました。経済指標は欧州経済の順調な回復を示したものの、市場の予想を上回るものが少なくなったことから、市場全体が買われる動きにはつながらず、好業績銘柄やM&A関連銘柄を中心に買われました。欧州通貨が対米ドルで下落したことも好感され、月末まで堅調に推移しました。リート指数は株式市場と同様の動きとなりましたが、金融政策に関する不透明感などから下落率が大きくなりました。

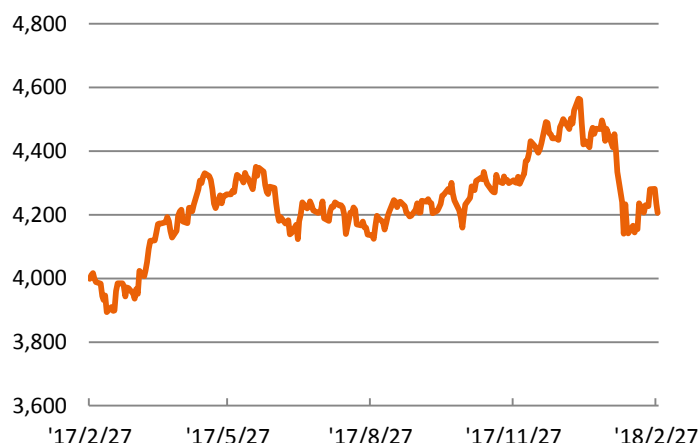
欧州債券市場では金融引き締めが早まるとの観測が広がり、長期金利は上昇して始まりました（価格は下落）。しかし、株価の下落に加えて欧州の経済指標に以前の勢いが見られなかったこと、およびイタリア総選挙などの政治リスクを背景に、ドイツの長期金利は前月末から低下しました。利上げ観測が強まり、英国の長期金利は前月末と同水準となりました。

外国為替市場で欧州通貨は円に対して下落しました（円高）。月初は欧州の長期金利上昇を受けて欧州通貨高となったものの、株式市場の急落から投資家のリスク回避姿勢が強まって円が買われました。ユーロと英ポンドは同様の値動きとなりましたが、欧州連合（EU）からの離脱に関する不透明感から英ポンドの下落率が大きくなりました。

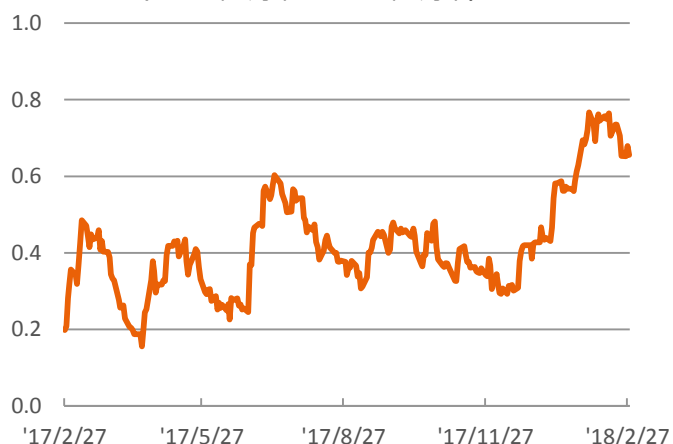
欧州株式市場の推移
(2017年2月末～2018年2月末)



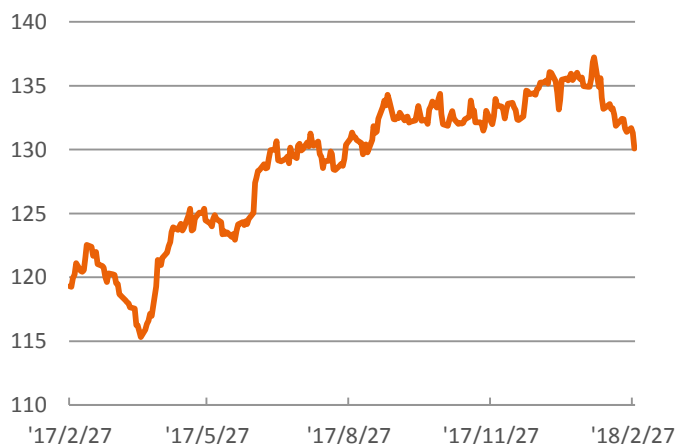
欧州リート市場の推移
(2017年2月末～2018年2月末)



ドイツ10年国債利回りの推移 (%)
(2017年2月末～2018年2月末)



ユーロ/円の推移 (円)
(2017年2月末～2018年2月末)



出所:ブルームバーグ等のデータをもとにNNインベストメント・パートナーズ株式会社作成

欧州株式: MSCIヨーロッパ指数 (ユーロベース) 欧州リート: FTSE EPRA/NAREIT Developed Europe Index (配当込み、ユーロベース)

上記は作成時点のものであり、将来の運用成果または投資収益を示唆あるいは保証するものではありません。上記の予測・見解等は作成時点のものであり、予告なしに変更されます。巻末の本資料の注意事項を必ずご確認ください。

● 欧州市況データ

基準日： 2018年2月28日		基準日終値	騰落率（現地通貨ベース、利回りは変化幅）			
			1ヶ月	3ヶ月	6ヶ月	1年
リート	欧州リート	4,205.49	-5.6%	-2.6%	0.2%	4.9%
	(ご参考) 米国リート	5,966.44	-7.3%	-11.2%	-9.6%	-10.4%
株式	欧州株式	128.02	-4.1%	-1.9%	1.5%	2.2%
	ドイツ株式	12,435.85	-5.7%	-4.5%	3.2%	5.1%
	英国株式	7,231.91	-4.0%	-1.3%	-2.7%	-0.4%
為替 (対円)	ユーロ	130.08	-4.0%	-2.9%	-0.7%	9.1%
	英ポンド	146.79	-5.3%	-3.6%	3.2%	5.1%
	(ご参考) 米ドル	106.68	-2.3%	-5.2%	-3.0%	-5.4%
10年国債 利回り	ドイツ	0.66%	-0.04%	0.29%	0.30%	0.45%
	英国	1.50%	-0.01%	0.17%	0.47%	0.35%
	(ご参考) 米国	2.86%	0.16%	0.45%	0.74%	0.47%
欧州ハイイールド債利回り		3.17%	0.34%	0.41%	0.52%	-0.01%

欧州リート： FTSE EPRA/NAREIT Developed Europe Index（配当込み、ユーロベース）
 米国リート： FTSE EPRA/NAREIT United States Index（配当込み、米ドルベース）
 欧州ハイイールド： ICE BofA Merrill Lynch・欧州ハイイールド・コンストレインド（除く金融劣後債）

欧州株式： MSCIヨーロッパ指数（ユーロベース）
 ドイツ株式： DAX指数（ユーロベース）
 英国株式： FTSE100指数（英ポンドベース）

● 今月の主な予定

日付	国・地域	イベント	データ期間	日付	国・地域	イベント	データ期間
3月4日	ドイツ	SPD党員投票結果		3月21日	英国	ILO失業率	1月
3月4日	イタリア	総選挙		3月22日	ユーロ圏	マークイットPMI	3月
3月7日	ユーロ圏	GDP成長率	第4四半期	3月22日	ドイツ	IFO企業景況感指数	3月
3月8日	ユーロ圏	ECB政策理事会		3月22日	英国	小売売上高	2月
3月9日	ドイツ	鋳工業生産	1月	3月22日	英国	BOE金融政策委員会	
3月9日	英国	鋳工業生産	1月	3月27日	ユーロ圏	景況感	3月
3月14日	ユーロ圏	鋳工業生産	1月	3月28日	ドイツ	GfK消費者信頼感	4月
3月20日	英国	消費者物価指数	2月	3月29日	ドイツ	失業率	3月
3月20日	ユーロ圏	ZEW景気感指数	3月	3月29日	英国	GDP成長率	第4四半期
3月21日	ユーロ圏	消費者信頼感	3月	3月29日	ドイツ	消費者物価指数速報	3月

出所：ブルームバーグのデータをもとにNNインベストメント・パートナーズ株式会社作成

【本資料で使用している指数について】FTSE®はロンドン証券取引所グループ会社が所有する商標であり、NAREIT®はNational Association of Real Estate Investment Trusts（以下「NAREIT」）が所有する商標であり、EPRA®はEuropean Public Real Estate Association（以下「EPRA」）が所有する商標であり、ライセンス契約に基づきFTSE International Limited（以下「FTSE」）が使用します。FTSE EPRA/NAREIT Indexは、FTSEによって算出されています。FTSE、Euronext N.V.、NAREITもしくはEPRAは本商品の支援、推奨、販売促進を行っておらず、いかなる形においても本商品に関わりがなく一切の責任を負うものではありません。指数値および構成銘柄リスト内のすべての知的財産権はFTSE、NAREIT、Euronext N.V.およびEPRAに帰属します。NNインベストメント・パートナーズ株式会社は本商品の組成において、それらの知的財産権を使うために、FTSEから完全な許可を得ています。MSCIヨーロッパ指数は、MSCI Inc.が開発した指数です。同指数に対する著作権、知的所有権、その他一切の権利はMSCI Inc.に帰属します。ICE BofA Merrill Lynch・欧州ハイイールド・コンストレインドはICEが算出する指数です。同指数に対する著作権、知的所有権その他一切の権利はICEに帰属します。

【本資料に関する留意事項】本資料は、NNインベストメント・パートナーズ株式会社が情報提供を目的として作成したご参考資料であり、金融商品取引法に基づく開示資料ではなく、投資勧誘を目的とするものではありません。本資料は信頼できると考えられる情報に基づいて作成しておりますが、情報の正確性、完全性を保証するものではありません。本資料中のいかなる内容も将来の投資収益を示唆あるいは保証するものではありません。本資料に掲載された見解や予測は作成時における判断であり、予告なしに変更されることがあります。